

## 京都大学野生動物研究センター 2024年度 共同利用・共同研究公募(研究費の配分を伴う研究)についての総評

2024年3月13日  
共同利用・共同研究拠点計画委員会

京都大学野生動物研究センターは2011年度から、「絶滅の危機に瀕する野生動物(大型哺乳類等)の保全に関する研究拠点」として、野生動物や動物園・水族館などで飼育されている動物を主な対象として、基礎研究や保全研究ならびに野生動物や自然環境への理解を深めるための研究教育活動をより広範に進めています。この取り組みの一環として、野生動物保全研究の発展に寄与するために、センター外の大学院生や研究者、動物園・水族館職員などを対象に研究をサポートしています。1件あたりの研究費の上限は、20万円と決して多くはありませんが、大学院の修士課程や博士前期課程でも申請できる助成金となっています。

今年度の申請は39件であり、審査を経て33件(採択率85%)が研究費の配分を伴う研究として採択されました(1件については審査後に辞退されました)。採択者のうち67%は大学院生で、留学生及び外国籍研究者が9%でした。応募数は昨年度より多く、選考には苦慮しましたが、学生が主体的に行うフィールド研究の旅費については、なるべく支援する方向になっています。その代わりに、学会旅費や汎用性の高い物品(PCなど)についてを支援するのは難しい状況でした。

また、本助成では長い時間を必要とするモニタリング研究も歓迎していますが、本制度の助成期間が1年間なので、その間の実施内容とそれによって期待される成果との関連性をはっきり示していただけの方が、評価されやすい状況となっています。継続研究の場合でも、これまでの成果と、次の1年に実施することを簡潔にまとめていただければと思います。

本研究助成では、不採択になった場合、その理由をなるべく知らせますので、その点を改善していただき、次年度もぜひ、申請していただきたいと思います。